

福井 県が不当に自肅要請 原発再稼働への抗議宣伝



再稼働反対を訴える（左から）
石森、西村両氏＝25日、福井市

県庁前

原発再稼働への抗議行動として福井市の県庁前で市民らが続けている街頭宣伝に対し、県が文書で自肅を要請してきました。市民らは県の不当な干渉に怒りの声を上げています。

干渉を受けたのは、石森修一郎さん(70) 坂井市 西村明宏さん(73) 福井市。

「未来の人たちが安心して暮らせる社会を残したい」との思いから平日昼休みの時間帯に欠かさず取り組んでいる

る行動です。2013年8月15日から開始し、900回に達しました。

石森さんらは、公安委員会の許可を得て、横断幕やのぼり旗を掲げ、ハンドマイクで訴えています。

これに対し、3月31日、県から届いたのは「県庁前交差点で市民活動をされている皆様

へ」とした県財産活用推進課長名の公文書で、「音量が大きくなり不快」「横断幕やのぼりは美観上好ましくない」などの苦情が県民から寄せられている、として自肅を求められています。

石森さんら4人は21日、県庁を訪れてあらためて抗議し、応じた大川淳一郎課長に公

開質問状を提出しました。質問状では、要請の正当な根拠をただしています。

石森さんには「負けないで」「頑張ってください」などの激励が相次いでいます。石森さんらは「こんなことで屈するわけにいかない」として、25日に901回目の宣伝を行いました。